



実践し省察するコミュニティへの参画を通じた学修研究デザイン

CURRICULUM

福井大学連合教職開発研究科(教職大学院)のカリキュラムの構造の意味

教職大学院の課程	45単位 ↑
学校における実習	10単位
共通科目	11単位
学校拠点・省察的実践 コアサイクル	9単位
コース別選択科目	15単位 ↑

NEW

研究科授業科目先取履修
 プログラム(制度設計中)

A

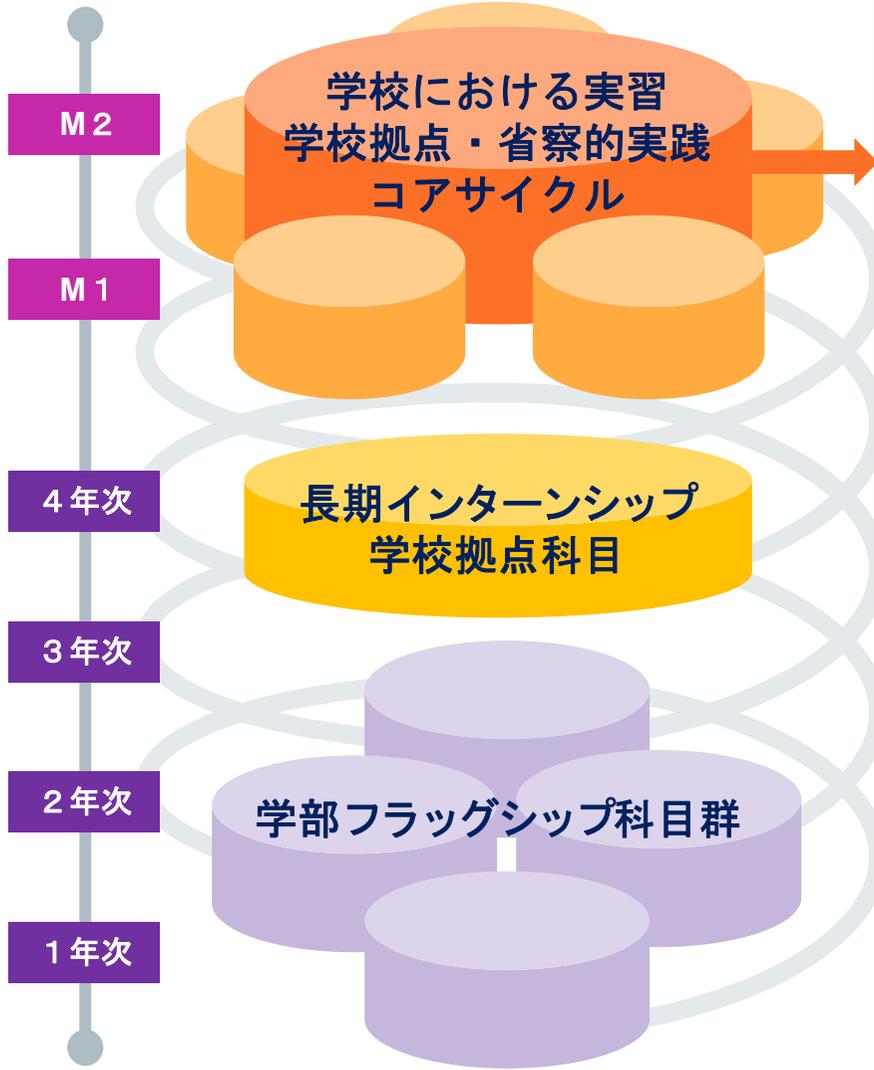
プログラムA:大学院1年履修
 先取22単位
 うち長期インターンシップ^o10単位

B

プログラムB:大学院1年履修
 先取17単位
 うち長インターンシップ5単位*
 *希望で+5単位履修可能

C

プログラムC:大学院2年履修
 先取6単位
 うち長期インターンシップ5単位



連動 共通科目と選択科目
 「学校における実習」科目
 「学校拠点・省察的実践コアサイクル」科目

- ▶実践(臨床)のフィールドという「もつれた網」の中で「行為の中の省察」を鍛える
- ▶省察的実践者の教育
 Follow Me, Joint Experiment & Hall of Mirror のカリキュラムへの実装
- ▶学校の現実の課題を主題(テーマ)として同僚やメンターとともに課題解決に向けた協働探究=実践の中の理論生成を行う
教育実践(臨床)研究を保障。

ファカルティ協働
 ・カリキュラム協働開発
 ・カリキュラム協働運営
 ・FD共催
 Joint Work

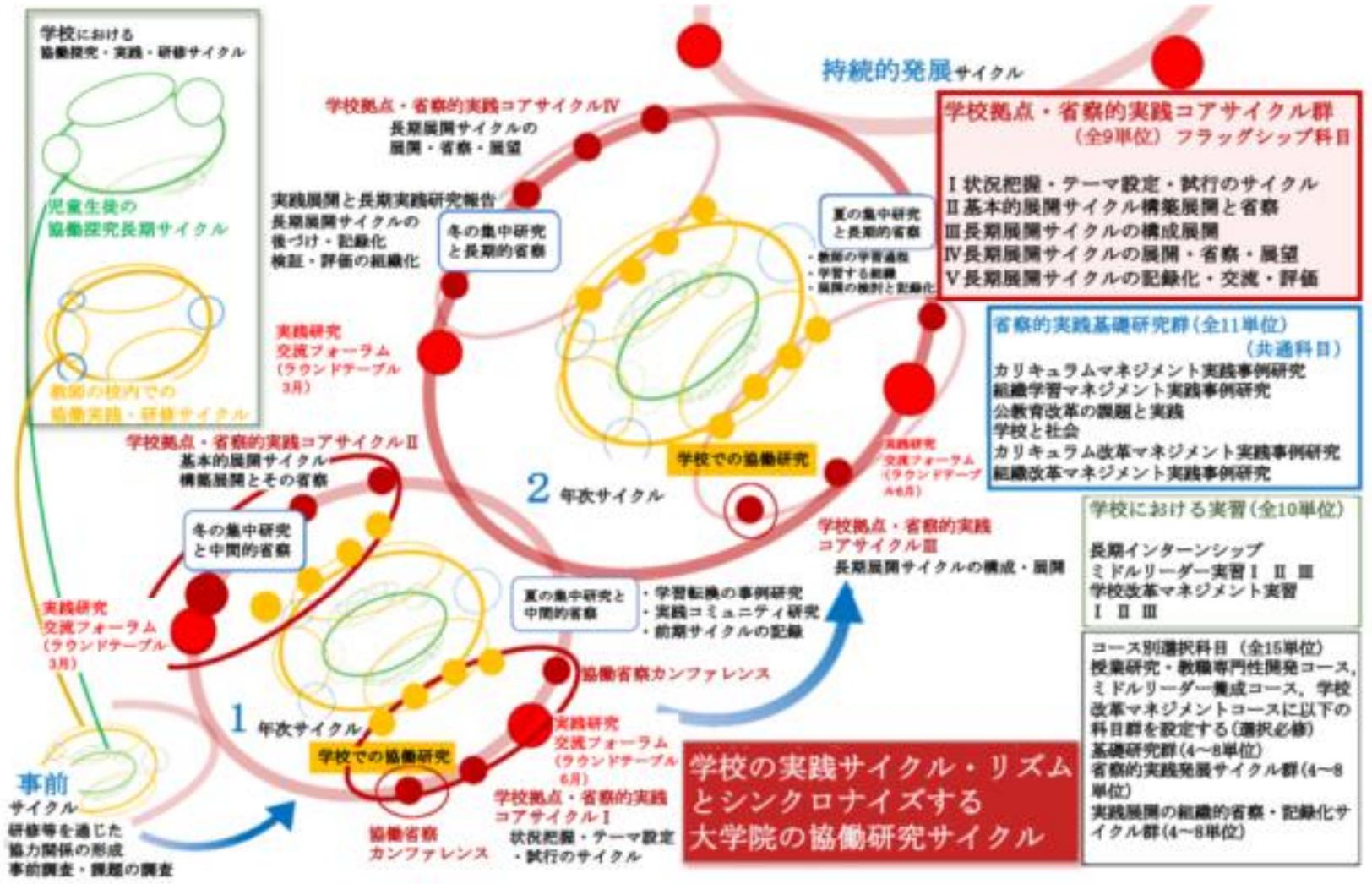
地域の実践コミュニティに参画する
 学びのネットワーク



実践し省察するコミュニティへの参画を通じた学修研究デザイン

CURRICULUM

福井大学連合教職開発研究科(教職大学院)のカリキュラムの構造の意味





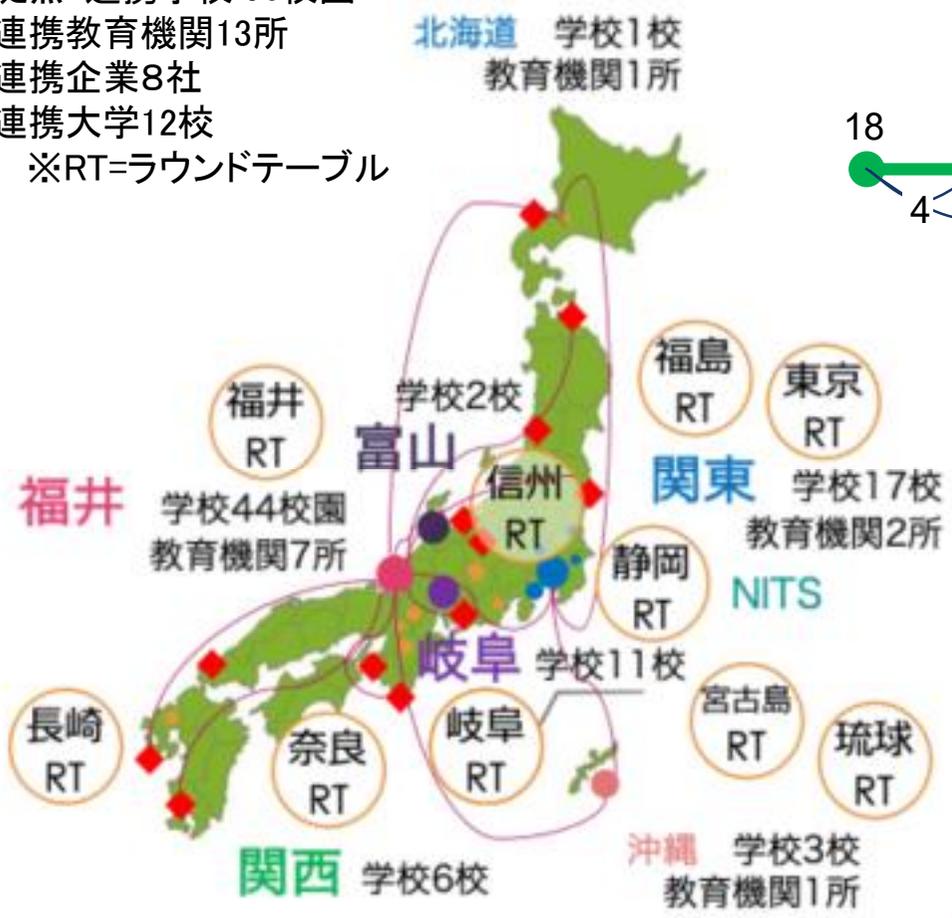
実践し省察するコミュニティへの参画を通じた学修研究デザイン

Why Network?
 なぜネットワークが必要なのか。
 教員養成は大学・大学院だけで完結するものではなく、教師が育つエコシステムとクロノシステムが必要だからです。

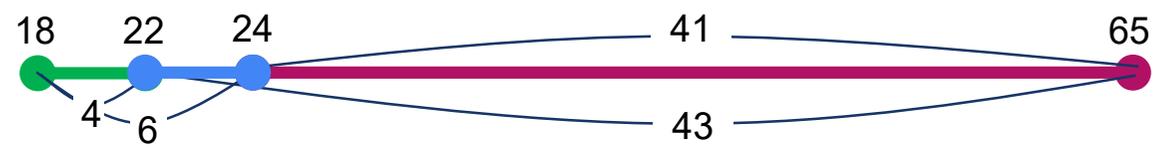
NETWORK

福井大学連合教職開発研究科(教職大学院)
 専門職の学び合うネットワーク

- 2025年度
- 拠点・連携学校 90校園
 - 連携教育機関13所
 - 連携企業8社
 - ◆ 連携大学12校
- ※RT=ラウンドテーブル



「一生学び続けるプロ」としての教師の学びと育ちを支える



- 学習観・養成観・採用観・研修観の転換は総合して（一貫して）進める必要＝学校・大学・教委のパートナーシップ 不可欠
- 教師個人の人的資本への集中投資とその査定（孤立・孤独）▶教師たちの意思決定資本と社会関係資本を含んだ専門職の資本への投資とその価値づけ（協働・協創）

全国の教員養成・教師教育機関、教師・教師教育者をつながりつなげ、それぞれのカリキュラムをアップグレードしていく

Professional Learning Network

- ◆ NITSとの協働研究（探究型研修＝コア研修、所員研修＝研修マネジメント力協働開発プログラム（マネプロ）の協働開発）
- ◆ 福井県、板橋区、宮古島市、加賀市、小浜市等との教員研修の充実連携協定
- ◆ 教員養成フラッグシップ4大学協議会